



アグリ情報 ちば



Agri Information CHIBA



同校に贈った農畜産物

- ・県産いちご「やよいひめ」20パック
- ・県産米「粒すけ」100kg
- ・県の銘柄豚「房総ポーク」のウインナー300本
- ・JA全農ちばオリジナルのミックスジュース「フルーツ&キャロット」300本

高校野球代表校の専修大学松戸高校へ県産農畜産物を贈呈（3月3日）

私たち全農グループは、**生産者と消費者を**
安心で結ぶ懸け橋 になります。

同 校 : 富山理事長、五味校長、持丸監督
JAとうかつ中央 : 秋元会長、小倉理事長
JA全農ちば : 林会長、荒井県本部長

CONTENTS

食と農を未来へつなぐ JA全農ちばの取組状況

- ・肥料価格抑制に向けチャレンジ!!

営農情報

- ・園芸野菜 病害虫防除情報
- ・果樹（ナシ）病害虫防除情報

園芸情報

- ・販売経過および情勢

米穀情報

- ・米穀情勢

肥料情報

- ・元気な野菜づくりは健康な土づくりから

資材情報

- ・使用済みの農業用フィルムはルールを守ってリサイクルしましょう

トピックス

- ・センバツ高校野球 代表の専大松戸に県産農畜産物でエール! 同校は初のベスト8!
- ・オンライン工場見学で「甘芋ん」販売促進 Instagram（インスタグラム）を活用したライブコマース実施
- ・御礼 最後のシルク製品展示即売会を開催

食と農を
未来へつなぐJA全農ちばの取組状況
肥料事業肥料価格抑制に向け
チャレンジ!!

皆さまからの積み上げが生産コスト低減へ

○肥料の銘柄集約 ～令和5年秋用肥料～

千葉県内では下記一般高度化成肥料（一発肥料や微量要素、有機質などを含まない窒素・リン酸加里のみの化成肥料）、普通化成肥料、苦土入り高度化成肥料の22銘柄を対象とし、集約を行っていた11銘柄をさらに8銘柄に集約しました。

県内全体で令和4年秋用肥料では2,793 t、令和5年春用肥料では4,640 tの発注をいただきました。

引き続き、銘柄集約による大量生産により製造コストの削減と肥料価格の低減を実現します。

銘柄集約対象肥料名(左) と集約後肥料(右)

成分タイプ	銘柄集約対象肥料名 (成分%)	成分タイプ	集約後肥料 (成分%)
低N・高PK	ファイト884 (8-18-14)	低N・高PK	化成肥料5-15-15 (化成肥料10-16-16を集約)
	ワンタッチ化成008 (10-30-18)		
	チバカセイ086 (10-18-16)		
山型	A907 (12-18-16)	山型	化成肥料14-18-14 (化成肥料12-18-14を集約)
	高度486 (14-18-16)		
	ふさこがね基肥専用464 (14-16-14)		
水平	根付化成高度13号 (13-13-13)	水平	化成肥料14-14-14 化成肥料16-16-16 (化成肥料14-8-8を集約)
	とびきり (14-14-14)		
	千葉化成444 (14-14-14)		
	りん加安42号 (14-14-14)		
	硫りん555 (15-15-15)		
	高度16号 (16-16-16)		
L型	草地480 (14-8-10)	NK	化成肥料17-0-17
	L型高度688 (16-8-8)		
NK	ファイトNK (15-0-15)	普通化成	化成肥料8-8-8 (苦土1)
	NK30号(16-0-14)		
	NK化成C6号(17-0-17)		
	NK化成C20号(20-0-10)		
普通化成	エコ化成888 (8-8-8苦土1)	苦土入り 高度化成	苦土入り化成肥料10-20-15 (苦土5) 苦土入り化成肥料12-16-14 (苦土4)
	エコ化成7号 (8-8-5)		
苦土入り 高度化成	あきたこまち専用(10-20-15苦土5)		
	マップ264 (12-16-14苦土4)		

銘柄集約

組合員・生産者の皆さまへ

組合員・生産者の皆さまにおかれましては、肥料の新共同購入運動にご理解をいただき、銘柄の集約と数量の積み上げにつきまして、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

営農情報

園芸野菜 病害虫防除情報

1. はじめに

本年は3月の気温が平年よりも高く推移し、一部作物では害虫の発生がやや多くなっています。4月も継続して気温が高い予報が出ておりますので、害虫の急増や施設の温度管理には引き続き注意しましょう。

2. キャベツ

(1) アブラムシ類

主にダイコンアブラムシ・ニセダイコンアブラムシ・モモアカアブラムシが発生し、葉裏を中心に寄生します。高温・乾燥の天候が続くと急増するため注意が必要です。また、収穫物にアブラムシ類が紛れていると異物混入にもなりますので、収穫中にも十分注意しましょう。



●キャベツ アブラムシ類 防除薬剤

対象害虫	IRACコード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数
アブラムシ類	4A	アドマイヤーフロアブル	4000倍	収穫7日前まで	2回以内
	4C	トランスフォームフロアブル	2000倍	収穫前日まで	3回以内
	28	ベネビアOD	2000倍	収穫前日まで	3回以内
	29	ウララDF	2000～3000倍	収穫前日まで	2回以内

(2) コナガ・アオムシ

主に葉裏に寄生し葉肉を食害します。圃場確認の際は、葉をめくって裏まで確認しましょう。被害が激しい場合は、葉の葉心、葉脈のみを残して加害し、幼苗の場合は枯死します。乾燥条件が続くと多発するため、晴れ予報が続く場合には注意しましょう。また、薬剤抵抗性の発達が非常に速い害虫です。同系統薬剤の連用・多用は避けましょう。

●キャベツ コナガ・アオムシ 防除薬剤

対象害虫	IRACコード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数
コナガ・アオムシ	5	ディアナSC	2500～5000倍	収穫前日まで	2回以内
	6	アフーム乳剤	1000～2000倍	収穫前日まで	3回以内
	14	パダンSG水溶剤	1500倍	収穫14日前まで	4回以内
	15	カスケード乳剤	2000～4000倍	収穫7日前まで	2回以内
	22A	トルネードエースDF	1000～2000倍	収穫7日前まで	2回以内
	22B	アクセルフロアブル	1000倍	収穫前日まで	3回以内
	23	モベントフロアブル	2000～4000倍	収穫7日前まで	3回以内
	30	グレーシア乳剤	2000～3000倍	収穫7日前まで	2回以内
		プロフレアSC	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内
	UN	ブレオフロアブル	1000倍	収穫7日前まで	2回以内
	11A	ゼンターリ顆粒水和剤	1000～2000倍	収穫前日まで	—
	(BT剤)	エスマルクDF(野菜類)	1000～2000倍	収穫前日まで	—

3. トマト

(1) コナジラミ類・アザミウマ類

コナジラミ類は主にオンシツコナジラミ・タバココナジラミが、アザミウマ類は主にミカンキイロアザミウマ・ヒラズハナアザミウマが発生します。どの種もウイルス病の病原ウイルス



タバココナジラミ

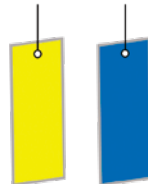


ミカンキイロアザミウマ

を媒介することで近年問題化しています。また、両害虫ともに薬剤抵抗性の発達が非常に速いため、薬剤に頼りすぎない総合的な防除を行いましょう。

○微小害虫防除のポイント

- ①ハウス、圃場内外の雑草は害虫の発生源・増殖源となるため、除去しましょう。
- ②ハウスには防虫ネットを展張し、ハウス内への害虫の侵入を防ぎましょう。目合いは0.4mm以下が理想的ですが、施設内環境に応じて選択しましょう。また、下写真の赤色防虫ネットはアザミウマ類侵入抑制に有効です。
- ③ハウス内には粘着板（コナジラミ類—黄色、アザミウマ類—青色）を設置し、害虫の発生状況を把握しましょう。
- ④微小害虫は葉裏に多く寄生しているため、薬剤散布は葉裏にも薬剤がかかるよう丁寧に行いましょう。



●トマト コナジラミ類・アザミウマ類 防除薬剤

対象害虫	IRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数
コ	ア				
○	○	4A ベストガード水溶剤	1000～2000倍	収穫前日 まで	3回以内
○		4C トランスフォームフロアブル	1000～2000倍		2回以内
○	○	5 ディアナSC	2500倍		2回以内
○		6 アファーム乳剤	2000倍		5回以内
○	○	アグリメック	500～1000倍		3回以内
○		9B コルト顆粒水和剤	4000倍		3回以内
○	○	15 マッチ乳剤	2000倍		4回以内
○	○	28 ペネビアOD	2000倍		3回以内
○	○	30 グレーシア乳剤	2000倍		2回以内
※	○	34 ファインセープフロアブル	1000～2000倍		3回以内

コ: コナジラミ類 ※タバココナジラミ類 ア: アザミウマ類

果樹（ナシ） 病害虫防除情報

1. はじめに

本年は、気温が暖かい影響で一昨年並みに開花が早くなる可能性があります。生育の前進化にともない、防除タイミングも前進化する可能性がありますので、気象情報や生育状況に留意し、薬剤の散布適期を逃さないよう注意しましょう。

2. 4月の梨防除について

(1) 黒星病芽基部病斑（右写真）を確認した場合は摘除しましょう。



(2) 長雨や強雨の影響で追加防除が必要な場合や、開花期間が一週間以上にわたる可能性がある場合は、トレノックスフロアブルを追加で散布しましょう。ただし、散布当日の受粉作業は控えましょう。

(3) ニセナシサビダニ対策が必要な園は、**新梢の展葉後にモベントフロアブル**の散布を実施しましょう。なお、アブラムシ類防除に重点を置く場合、モベントフロアブルの散布時期をやや後ろにずらすことも可能です。一方で、アザミウマ類防除に重点を置く場合は、ハチハチフロアブルを散布しましょう。

(4) 防除暦（4月部分抜粋）

時期（目安）		防除方法	使用倍数	備考
りん片脱落終了後～開花直前	4月上旬	マネージDF トレノックスフロアブル ウララDF	6,000倍 500倍 2,000倍	- トレノックスフロアブルは黒星病の耐性菌回避および心腐れ症の防除のため使用する。 - モンシロドクガ等の食葉性害虫対策は、ダイアジノン水和剤34（1,000倍）を散布する。
開花期	4月中旬	芽基部発病芽の摘除 （交配時に努めて実施）		交配期間が7日以上にわたり黒星病の発生が心配される場合に限り、トレノックスフロアブル（500倍）を散布する。ただし、受粉当日の散布は控える。
受粉終了後	4月中旬 ～ 4月下旬	スコア顆粒水和剤 トレノックスフロアブル バリアード顆粒水和剤	4,000倍 500倍 4,000倍	トレノックスフロアブルは黒星病の耐性菌回避および心腐れ症の防除のため使用する。
	4月下旬 ～ 5月上旬	新梢展葉を確認後、 モベントフロアブル	2,000倍	- チャノキイロアザミウマの発生が多い場合はハチハチフロアブル（2,000倍）を散布する。 - 疫病の発生が心配される場合はアリエッティ水和剤（1,000倍）を散布する。

※時期は平年の目安です。本年は防除時期の前進化が想定されますので、生育状況に合わせた防除を行いましょう。

※マネージDFやスコア顆粒水和剤はDMI剤（FRACコード：3）に分類される同系統の薬剤です。開花時期の重要な黒星病防除剤ですが、感受性低下の恐れが非常に高い薬剤でもあります。必要以上の連用・多用は避け、散布時はトレノックスフロアブル等の保護殺菌剤とあわせて使用し、耐性菌発生リスクを低減させましょう。

園芸情報

販売経過および情勢

青果物 3月の販売経過

3月は上旬、中旬と高気圧に覆われやすかったため、全国的に日照時間が多くなりました。

また、気温は1946年の統計開始以降で3月として北日本と東日本で最も高くなり、西日本では過去の最高記録に並ぶ高温となりました。

3月の東京都中央卸売市場の野菜の入荷量は前年同月比で95%となりました。

ねぎやたまねぎ等は好天により前年を上回った一方、2月までの天候不順による冷え込みの影響を受けたはくさいやトマト、かぼちゃ等は前年を下回りました。

単価は前年同月比で99%となりました。

前年より入荷量が多かったたまねぎ、ねぎは前年を大きく下回った一方、入荷量が少なかったかぼちゃやにんじん、ブロッコリー等は前年を上回りました。

国産果実の入荷量は前年同月比で100%となりました。

キウイやりんご類は前年を大きく上回る入荷量でしたが、天候不順の影響を受けたいよかんや、いちごの「いちごさん」、「とちおとめ」、「紅ほっぺ」は前年を下回る入荷量でした。

単価は前年同月比で101%となりました。

前年を大幅に上回る入荷量となったりんご類等は前年を下回った一方、入荷量が少なかったいちご類等は前年を上回りました。

※数値は何れも東京都中央卸売市場統計データによる

東京都中央卸売市場の野菜・果実入荷量および単価（3月）

	数 量		単 価	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)
野 菜	111,367	95	266	99
果 実	27,780	99	578	102

JA全農ちばの販売状況（3月）

	数 量		単 価		取 扱 額	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)	(百万円)	前年比 (%)
野 菜 計	27,756	90	154	96	4,263	87
果 実 計	333	91	1,101	112	367	102
だいこん	8,735	97	89	87	775	85
にんじん	2,835	73	110	131	312	96
キャベツ	6,203	78	80	84	494	66
ほうれん草	104	83	346	107	36	90
ね ぎ	2,073	102	222	73	459	75
春 菊	61	90	549	103	33	92
レ タ ス	322	84	235	101	75	85
パ セ リ	31	108	726	97	22	105
きゅうり	1,831	90	302	119	551	107
ト マ ト	357	79	347	141	124	90
さつまいも	2,989	114	231	82	692	94
い ち ご	333	92	1,101	111	367	102

4 月主要品目

作付動向・作柄状況

見通し基準（前年対比）	
多・高	+ 10%以上
やや多・やや高	+ 5%～10%
並	± 5%以内
やや少・やや安	- 5%～10%
少・安	- 10%以上

入荷量・価格は
東京都中央卸売
市場の集計です

品 名	入荷量 (t)		単価(円/kg)		主産地	作柄および概況
	当年見通し	前年実績	当年見通し	前年実績		
キャベツ	並	19,358	並	106	神奈川県 愛知 千葉	各産地とも生育は概ね順調。1週間程度の前進出荷となっている。主力の神奈川県が上旬には出荷最盛期を迎える見込みで、出荷量・単価は概ね前年並みの見込み。
だいこん	多	9,430	安	96	千葉県 茨城	千葉・茨城は生育順調で、中旬以降は増加し前年を上回る出荷となる見込み。全体量が多いこと、また気温高により需要が鈍り、前年を下回る単価での販売が予想される。
にんじん	並	7,315	高	127	徳島	徳島の生育は順調であったが、干ばつの影響により細物中心の出荷となっている。出荷量は上中旬から増加見込み、単価は残量多く安かった前年を上回る見込み。
トマト	並	6,808	並	370	熊本 栃木 愛知	各産地の玉流れは小玉傾向。収穫段の移り変わりとともに大玉傾向となるため、4月の入荷量の増加を見込む。入荷量、単価はともに概ね前年並みの見込み。
きゅうり	並	6,726	並	275	群馬 馬場 宮崎	北関東産が最盛期を迎える。3月までの出荷量は鈍かったが、気温上昇に伴い全体量は増加傾向。出荷量は冷え込みにより少なかった前年並み、単価は前年並みを見込む。
ねぎ	並	3,819	やや安	309	千葉県 茨城 埼玉	各産地ともに生育順調。千葉の春ねぎは前年並みの出荷見込みであり、4月中旬頃からは初夏ねぎの出荷も見込まれる。販売環境厳しく、単価は前年を下回る見込み。
ほうれん草	やや多	1,322	やや安	468	茨城県 群馬 栃木	露地物で低温乾燥による葉の傷みが多少みられるが生育は概ね順調。3月の降雨や気温の上昇から潤沢な出荷が予想されることから、単価は前年・平年をやや下回る見込み。
パセリ	やや多	48	やや安	837	千葉県 静岡 岡山	4月からは春夏物の出荷が始まるため、入荷量の増加が見込まれる。生育は概ね順調、入荷量は前年より少なかった前年を上回り、単価は前年を下回る見込み。
さつまいも	やや多	2,240	やや安	306	千葉県 茨城	新物の準備で出荷量は落ち着くが、全国的に豊作傾向で平年をやや上回る見込み。量販店の売れ行き鈍く、販売の主体も春商材となるため単価は前年を下回る見込み。
春 菊	並	87	並	800	千葉県 茨城	秋冬作は終盤を迎え、春夏作が始まることから、新物を加えた出荷となる。新物の生育は前年同様やや遅れ気味のため、前年並みの出荷量と単価を見込む。
いちご	並	4,655	並	1,140	栃木 福岡 茨城	3～4番果の収穫が重なり、4月上旬頃までは潤沢な入荷が見込まれるが、気温が前年より高めで推移しているため、小玉果の発生が多くなることが予想される。

花 販売情勢

◆3月の販売経過【切花】

本年は、主要となる輪菊については、生育順調で推移していたことから前年並みの入荷量となったものの、小菊や鉄砲ユリ、グラジオラス等は作付面積の減少や生育不良により前年を下回る結果となりました。

販売については、上旬は、卒業式や送別会需要により、カーネーション・ガーベラ等の洋花で、暖色系を中心に荷動きが良く、安定した販売となりました。中旬になると、春の彼岸に向けて輪菊やストック等の彼岸商材が入荷増量となる中、彼岸入りの天候が悪く、店頭での荷動きはやや弱いものとなりました。しかしながら、彼岸後半にかけては天候が回復したため平年を上回る単価推移となりました。下旬以降は、需要期を過ぎたため、各産地からの出荷は減少したものの、気温高めで推移したため入荷量も前年より多く、荷動きは鈍くなりました。



◆今後の見通し（5月）【切花】

5月は初夏に向けて産地、品目が切り替わる時期となります。全国的に3月は温暖な気候となったことから、バラやカーネーション、カスミ草、トルコキキョウ等では生育は前進出荷傾向となり、輸入品においても、為替の影響次第では少量入荷となる懸念があることから、平年を下回る入荷量となる見込みです。

販売については、5月の連休、母の日において、洋花を中心に需要が高まる中、母の日参りやギフトを中心に、量販・専門店で昨年以上の販売が期待されます。

◆今後の見通し（5月）【品目別】

品 名	作 柄 お よ び 概 況
カーネーション	宮城・千葉・愛知・長崎からの出荷が主力。 母の日需要を中心とした動きとなる見込み。 各産地、昨年同様に十分な日照時間があったため前進出荷傾向となることが懸念され、平年を下回る入荷量となる見込み。
トルコキキョウ	千葉・静岡・愛知からの出荷が主力。 各産地、生育前進気味である事から4月に出荷最盛期となる事が懸念され、不安定な入荷となる見込み。 母の日需要を中心とした動きの中、気温上昇による品質差が価格差となる見込み。
ヒマワリ	千葉からの出荷が主力。 生育はやや遅れ気味であったものの、気温上昇に伴い生育は進み、前年並みの入荷量となる見込み。 季節商材としての動きがあり、安定した販売となる見込み。
鉄 砲 ユ リ	岐阜・高知・宮崎からの出荷が主力。 各産地、作付面積は減少傾向となっており、平年を下回る入荷量となる見込み。 葬儀等の業務需要を中心とした動きとなる見込み。
ス タ ー チ ス	和歌山からの出荷が主力。 生育は順調に推移しており安定した入荷となる見込み。 「母の日参り」等を中心とした動きとなる見込み。

米穀情報

米 穀 情 勢

1. 主食用米等の需給見通しについて

(1) 令和4年産の振り返りとポイント

令和3年産米目標比で18万t減。
面積にして3.9haの作付け転換が必要。

結果的に、3.9万haを上回る
5.2万haの転換に成功

（単位：万トン）

【令和4/5年の需給見通し】

		令和4年7月 食糧部会	令和5年3月 食糧部会
令和 4 / 5 年	令和4年6月末民間在庫量 A	217	218
	令和4年産主食用米等生産量 B	675	670
	令和4/5年主食用米等供給量 C = A + B	892	888
	令和4/5年主食用米等需要量 D	692	691～697
	令和5年6月末民間在庫量 E = C - D	200	191～197

上記の表は令和4/5年（令和4年7月～5年5月末）の需給見通しです。

コロナ禍による需給の大幅緩和のため、令和4年産は水田活用米穀への作付転換を進め、主食用の生産量を減少させる必要がありました。

令和4年7月の食糧部会における基本指針である主食用米生産量「B」の675万tは、「E」の令和5年産6月末民間在庫量を200万tと設定し、そこから逆算したものです。

675万tに生産量を抑制するためには前年の作付面積から3.9万haの転換が必要でしたが、結果的に5.2万haまで転換が進み、令和4年産主食用米の生産量は670万tとなりました。

需要量については、トレンドに人口を乗じて691万tと算出したうえで、コメの販売動向調査（令和4年7月～9月）による需要増見込み約9万t（前年比1.6%増）と、価格変動に伴う需要減少見込み約3万tを踏まえ、691～697万tまでの6万tの幅で設定しています。

これらの試算によると、令和5年6月末民間在庫量は191～197万tと令和元年以来4年振りに200万tを下回る見通しです。

(2) 令和5年産米のポイント

（単位：万トン）

【令和5/6年の需給見通し】

		令和5年3月 食糧部会
令和 5 / 6 年	令和5年6月末民間在庫量 E	191～197
	令和5年産主食用米等生産量 F	669
	令和5/6年主食用米等供給量 G = E + F	860～866
	令和5/6年主食用米等需要量 H	680
	令和6年6月末民間在庫量 I = G - H	180～186

令和4年産米と同水準の
作付面積として設定

上記の表は令和5/6年（令和5年7月～6年6月末）の需給見通しです。

令和5年産主食用米等の生産量については、令和4年産と同水準の作付面積として669万t（前年比▲6万t）と設定されています。

令和5/6年の需要見通しは、消費トレンドおよび人口（推計値）を基に680万tと算出しており、その結果令和6年6月末の民間在庫は180～186万tとなっています。

しかしながら、この見通しのとおり需給が均衡に向かうためには、令和5年産の作付において水田活用米穀への転換が令和4年産並に維持されることが前提となります。また、現時点でも令和3年産以前の持ち越し在庫が2月末時点で39万t（速報値）と依然多く残っており、令和5年産米の作付動向によっては、米の販売価格は下落に転じかねない極めて不安定なバランスで需給が保たれている状況です。

そのため、令和5/5年の需給環境は、主食米への作付け回帰により主食用米等の生産量が増加すると、再び緩和状況に陥る可能性を抱えています。

【令和5年産米等の作付意向（前年産実績との比較、令和5年1月末時点）】

下段〔 〕は前年同時期の作付意向

千葉県は網掛け欄

	主食用米	戦略作物							備蓄米
		加工用米	輸出用米等	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	麦	大豆	
前年より増加傾向	0県 〔0県〕	15県 〔16県〕	18県 〔20県〕	16県 〔22県〕	11県 〔32県〕	20県 〔17県〕	23県 〔24県〕	16県 〔24県〕	6県 〔7県〕
前年並み	35県 〔25県〕	27県 〔21県〕	18県 〔11県〕	24県 〔18県〕	25県 〔13県〕	21県 〔26県〕	14県 〔12県〕	15県 〔13県〕	22県 〔18県〕
前年より減少傾向	12県 〔22県〕	2県 〔7県〕	3県 〔7県〕	5県 〔5県〕	10県 〔0県〕	4県 〔2県〕	8県 〔9県〕	14県 〔8県〕	5県 〔7県〕

注1：令和5年産の意向（増加傾向、前年並み傾向、減少傾向）は、4年産実績との比較。

注2：比較している主食用米の4年産実績は、令和4年12月統計部公表の主食用作付面積。

注3：加工用米、飼料用米、WCS用稲、米粉用米、輸出用米（新市場開拓用米）の4年産実績は、取組計画認定面積。

注4：麦・大豆の4年産実績は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。

注5：備蓄米の4年産実績は、地域農業再生協議会が把握した面積。

上記表は農林水産省が公表した「令和5年産米等の作付意向（令和5年1月末時点）」です。

令和5/6年の需要見通しのとおり、令和5年産米主食用米の生産量は、令和4年産米と同水準の作付面積から設定されています。

上記表によると、主食用米の作付意向が前年より増加傾向の県は0県、前年並みの県は35県、前年より減少傾向の県は12県となっています。1月末時点での作付意向では、おおむね基本指針通りになっているものの、今後公表される作付意向（第2回中間的取組状況）を注視する必要があります。

なお、千葉県の1月末時点での主食用米作付意向は「前年並み」となっています。引き続き、需要に応じた生産にご協力を賜りますようお願いいたします。

2. 令和5年産政府備蓄米の買入入札について

令和5年産政府備蓄米の第1回入札が1月24日、第2回入札が2月14日、第3回入札が3月7日、第4回入札が3月28日に実施されました。

第4回入札までで、年間買入予定数量208,000トンのうち196,902トン（94.7%）が落札済みとなりました。

残枠11,098tに対し、第5回入札が4月18日に実施予定で、その後も買入予定数量に達するまで行われる予定となっています。

令和5年産備蓄米入札結果

単位：トン

	実施日	入札数量	落札数量	残
第1回	1月24日	170,646	93,129	114,871
第2回	2月14日	97,543	94,795	20,076
第3回	3月7日	8,803	7,613	12,463
第4回	3月28日	2,024	1,365	11,098
累 計			196,902	11,098

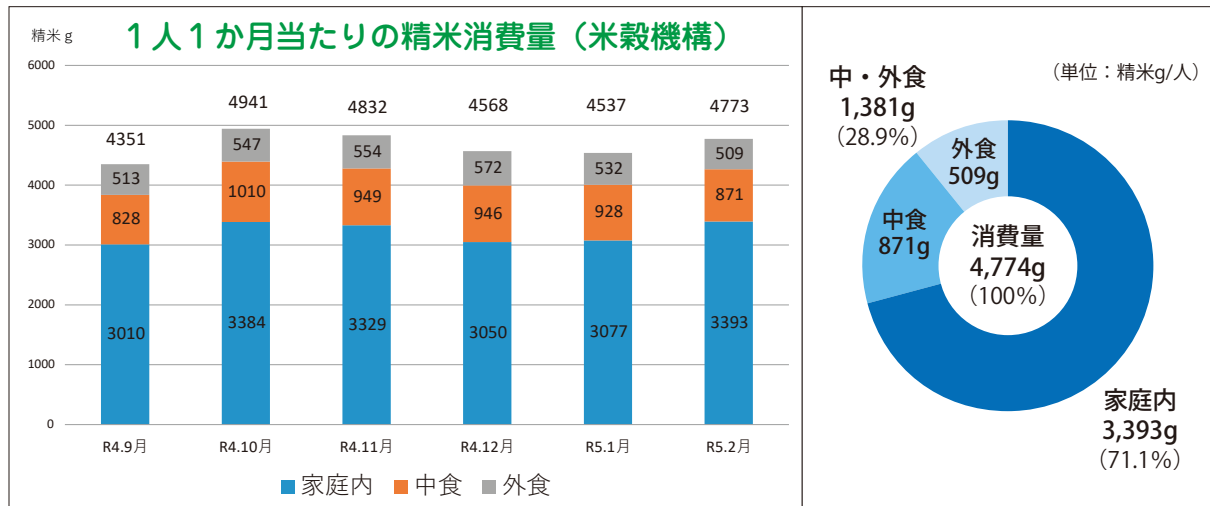
もし枠が埋まらずに買入札が終了した場合、残枠分の数量が主食用米に流れる可能性があります。その場合は主食用米の需給に影響を及ぼす可能性が考えられます。

3. 米の消費動向について

米穀機構は3月27日に米の消費動向調査結果（令和5年2月分）を公表しました。

それによると、1人1か月あたりの精米消費量は4,774gで前年同月比101.3%でした。

そのうち家庭内での消費が3,393gで前年同月比102%、中・外食が1,381gで前年同月比99.4%でした。



4. 向こう3か月の天候の見通しについて（気象庁 3月20日発表）

気象庁によると関東甲信越地方の4月～6月の天候は次のとおりです。

4月： 平年と同様に晴れの日が多く、気温は平年よりも高い見込み。

5月： 平年と同様に晴れの日が多く、気温は平年並み～高い見込み。

6月： 平年と同様に曇りや雨の日が多く、気温は平年よりも高い見込み。

平年よりも気温が高くなる予報ですので、生育が想定よりも早く進み過剰分けつの恐れがあります。

そのため中干しが遅れないように注意してください。

5. 出荷契約の締結について

～JAと令和5年産米の出荷契約を締結しましょう！～

令和5年産米を取り巻く需給環境は、令和4年産米で作付け転換が進んだことにより、改善されつつあります。

しかしながら、令和5年産米においても令和4年産米同様の作付け転換への取り組みを維持していく必要があります。

JAとの契約の締結にあたっては、これらの情勢を踏まえ、飼料用米等への転換（維持）を充分検討してください。

肥料情報

元気な野菜づくりは健康な土づくりから

POINT!



土づくりは作物が健全に生育するための土壌環境を整える効果があります。

土作りで期待される効果

その1. 保肥力の向上

肥料成分を保持する力を高めます。

その2. 土壌微生物の多様化

微生物が増加し、有機物分解が活性化します。

また、土壌病害の予防にも効果があるといわれています。

その3. 品質・収量の安定化

土壌環境を一定に保つ力が高まるので、品質・収量の安定につながります。

おすすめ資材



まかい 4

ようりん、苦土石灰、微量要素、腐植酸を一度に補給出来る、省力型土壌改良資材。



フミカルアップ

腐植酸 + Ca を補給し、根張り、保肥力の向上や Ca 欠乏の対策に！ペレット加工により機械施肥にも対応。



アツミン

30 ～ 40kg で堆肥約 1 t 分の腐植酸を補給



レオグリーン特号

バーク堆肥、米ぬか、魚粕、腐植酸を配合した濃縮ペレット堆肥。機械施肥にも対応。



石灰窒素

土づくりだけでなく、肥料と農薬効果も！

- ・ **土づくり効果**：腐熟促進、土壌酸度の矯正。
- ・ **肥料効果**：カルシウムの補給と緩効性窒素肥料として。
- ・ **農薬効果**：殺虫、殺菌、除草、休眠覚醒。

※袋裏面の農薬登録内容をご確認のうえ、施用してください。

肥料は土とよく混合しましょう！



施肥ムラとそれにとまなう生育のばらつきが無いように均一に！



詳しい使い方については千葉県指導機関または J A にお問い合わせください

資材情報

使用済みの農業用フィルムはルールを守ってリサイクルしましょう

農業者の皆さまが使用を終えた農業用フィルムは「産業廃棄物」です。産業廃棄物は、排出者（農業者）自らの責任で適正に処分する必要があります。使用済みの農業用フィルムは、市町村の廃プラスチック対策協議会を通じて回収し、リサイクルされています。

廃ビニールは異物が混入しますと、リサイクル製品として販売できないばかりか、機械故障の原因となります。廃ポリについては最終処分先から返品されるだけでなく損害賠償請求がなされる可能性があります。「リサイクル原料」を取り扱っていることをご理解いただき、異物の混入防止にご協力をお願いします。

また、劣化した廃ビニールはリサイクルセンターで再生加工に適さないため、リサイクルコストの増加を招く要因になりかねません。劣化前の早期回収にもご協力をお願いします。



混入物

- ポイント1** 異物混入をなくしましょう。
ゴム片、石、金属、竹、木片、植物残渣等は絶対に混入させないでください。
- ポイント2** 梱包の規格を守りましょう。
特に廃ビニールは大きさ・重量が規格を超えていると、金属探知機による異物検査や、その後の裁断ができなくなります。
- ポイント3** 洗浄・土落としをていねいにしましょう。
受入時に放射線検査を実施します。土を充分除去してください。
- ポイント4** 廃ビニールは劣化する前に搬入しましょう。
劣化した廃ビはリサイクルできず、リサイクルコスト増加の要因になります。



最終処分先で発見されたもの



劣化している廃ビニール

搬入時の注意点

搬入対象品目規格

分 類	廃ビニールA	廃ビニールB	廃ポリ
対象品目	平成23年3月に展張されていた塩化ビニールフィルム	廃ビニールA以外の塩化ビニールフィルム	ポリエチレン・サクビ・P.O（ポリオレフィン）などのフィルム
洗 浄	●できるだけ展張した状態で全体を洗う。水洗いを基本とする。 ●すそ部分は切り離して水を使って洗う。	●できるかぎり、土などの付着物を除去する。 ●すそ部分は切り離して水を使って洗う。	●土などの付着物を充分払い落とす。
規 格 (重さ15kg程度まで)			
結 束	排出するフィルムと同種類のものをひもにする。		左と同じか、マイカ線などを利用する。
そ の 他	登録番号と、「廃ビニールA(B)」または「A(B)」を記載		登録番号等記載不要

その他、ポリエチレンフィルムについてはご相談ください。

お問い合わせ先 千葉県農業用廃プラスチック対策協議会事務局（JA全農ちば 資材課）TEL.043-245-7379

TOPICS

センバツ高校野球 代表の専大松戸に県産農畜産物でエール！ 同校は初のベスト8！

J Aとうかつ中央とJ A全農ちばは3月3日、県内農家・J Aを代表し、18日から開幕する第95回記念選抜高等学校野球大会に出場を決めた専修大学松戸高校へ新鮮な県産農畜産物と壮途金を贈呈し、甲子園での健闘を祈念しました。

贈呈式にあたり、J A全農ちばの林茂壽運営委員会会長は「全国屈指の激戦区『千葉』の代表として、紫紺の大優勝旗を千葉県に持ち帰ってくれることを県民627万人が期待をしている」と激励の言葉を贈りました。

また、J Aとうかつ中央の秋元篤司経営管理委員会会長は「地元へ喜びをもたらしてくれることを願っている」と高校球児に期待を込めました。

贈呈を受けた同校の富山尚徳理事長は「今まで本人たちがやってきたことを精一杯発揮できる環境を作り、甲子園へ送り出したい」と選手への想いを語ったほか、野球部の持丸修一監督は「誰もがチャンスメーカーになれるまとまったチームだ」と太鼓判を押しました。

同校は、昨年秋の県大会で優勝し、関東大会では準優勝。春の甲子園には2年ぶり2回目の出場となりました。



富山理事長

林会長

TOPICS

オンライン工場見学で「甘芋ん」販売促進 Instagramを活用したライブコマース実施

Instagram



左から堀越課長、藤田加工場長、中臺係長

J A全農ちばは3月17日、J A成田市のほし芋「甘芋ん」のPRのため、同J Aの加工場から製造工程などをInstagramで生配信しました。生配信に加え、特別価格での販売や当日の視聴者限定のプレゼント企画、J Aタウン公式ツイッターでのプレゼントキャンペーンも実施しました。

この取り組みは、令和4年2月から開始し、これまで「松戸の完熟苺」、「長生メロン」、「千葉県産落花生」を紹介し、「甘芋ん」は4回目の取り組みとなります。

加工場では、J A成田市営農部加工販売課の堀越昌信課長、藤田勝美加工場長、中臺健係長とJ A全農ちばの職員が生出演し、製造工程に沿って現場を案内しました。配信の目玉は、皮をむいたばかりの黄金色の芋や蒸した芋を取り出す際に立ち昇る蒸気。視聴者からは、普段見ることのできない製造工程に「お芋おいしそう」「このまま食べたい」等のコメントがリアルタイムに寄せられました。

藤田加工場長は「ほし芋は原料のさつまいもからわずかな量しか製造できない。こだわりの詰まった甘芋んをぜひ味わってほしい」と熱い想いを語りました。

今後は、産地の魅力発信等も交えながら、消費拡大の促進に取り組んでまいります。

配信の様子は、J A全農ちばの公式Instagramのアカウントから視聴することができます。

TOPICS

御 礼 最後のシルク製品展示即売会を開催

去る令和4年3月31日をもって蚕糸会館（千葉市）内のシルクセンターが30年の歴史に幕を閉じたことから、令和5年3月1日～3日、シルク製品最後の販売機会としてシルク製品展示即売会を開催し、3日間の開催で多くの方々のご来場いただきました。

長きにわたりご愛顧いただき、誠にありがとうございました。

現在、千葉県では4戸の生産者が養蚕を営んでおり、その確かな品質は県内外から高い評価を受けています。

J A全農ちばは、養蚕の支援・指導をはじめ、シルク製品の販売にも引き続き取り組んでまいります。養蚕農家への温かいご声援をお願い申し上げます。



《シルクセンター史》

- 昭和44年3月 蚕糸会館 落成
- 平成3年8月 シルクセンター 開店
- 平成13年2月1日 千葉県経済連と千葉県養蚕農業協同組合連合会が合併
- 平成13年3月31日 全農と千葉県経済連が組織統合
- 令和4年3月11日 シルクセンター 閉店
- 令和4年3月31日 シルクセンター 閉鎖

ライブコマース 配信の様子



加工場全面協力の下で「甘芋ん」をPRしました

黄金色の芋の画をお届けする配信の様子

蒸したての熱いうちに手際よく皮を剥きます

乾燥させて計量し、バック詰めします

自信の美味しさ goodサイン

配信の様子は、J A全農ちばの公式Instagramのアカウントから視聴することができます。



母の日GIFT
販売中!!

JA全農インターネット通販

千葉県産農畜産物のご贈答・お取り寄せなら

JAタウン JA全農ちば 愛情いちばん館

ほんの一例です/
主な取扱商品

JAタウン“JA全農ちば 愛情いちばん館”では、産地自慢の「ちばの味」を全国へ産地直送でお届けしています。贈り物やご自宅用に是非ご利用ください。

初夏の宝石☆

房州びわ(温室) 1箱～3箱

甘味と酸味のバランスが良くとってもジューシーです。きれいなオレンジ色の実が宝石のようです。柔らかかなうぶ毛に包まれたデリケートな果実は、ひと粒ひと粒袋掛けし、丁寧に栽培しています。母の日用商品もあります。瑞々しい房州びわをぜひご賞味ください!

JA長生
ながいき玉ねぎ

有機質肥料をたっぷり施し、特に辛味が少なく甘味の強いながいき玉ねぎは生食でもおいしいサラダ玉ねぎがオススメです。

母の日 長生(ながいき)
トマト(4kg)

トマト本来の酸味と甘みのバランスを重視した、しっかりとした果肉のトマトです!!母の日カードと一緒にお届けをします!

ブーゲンビリア各種

ひと鉢、ひと鉢に愛情をこめて育てた花のボリュームと花もちの良さがおすすめです!母の日用商品もぜひご検討ください!

母の日 成田のほし芋甘芋(あま〜いもん)
プラス(180g×5袋)

ねっとり甘いべにはるかを使用!母の日カードと一緒に届け!



JAタウン「JA全農ちば 愛情いちばん館」ショップ

野菜・果物・お肉・農産物加工品・海の幸・お花等様々な商品を取り揃えております。

※御電話での注文は承っておりません、ご了承ください。

<https://www.ja-town.com/shop/c/c3401/>



愛情いちばん館HP

お問い合わせ

全国農業協同組合連合会
千葉県本部 園芸部
園芸直販課
TEL 043-245-2911

お知らせ

JA全農ちばは、「アグリ情報“ちば”」が生産者の皆さまとの情報交換の場となるよう努めて参ります。身近な話題、ご意見、ご要望などございましたら、下記連絡先までお寄せください。

アグリ情報“ちば”に係る
個人情報の取り扱いについて

組合員の皆さまからご提供いただきました個人情報、は、「アグリ情報“ちば”」送付の目的にのみ使用いたします。

JA全農が提供するラジオ番組

Tokyofm
Life time audio 80.0ZEN-NOH
COUNTDOWN JAPAN

13:00~13:55 毎週土 生放送
全国の農畜産物をプレゼントします。



15:50~16:00 毎週土

生産者の声や開発の道のりなど商品の魅力を紹介します。



23:00~23:06 毎週土

農業について一緒に楽しく学びましょう。

JA全農ちば
公式HPJA全農ちば
公式Instagram